



「みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友だちがいますか？」

5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

取材先

宝泉地区

宝泉絵画クラブ



宝泉絵画クラブは、平成19年に始まり、現在会員は12名です。第1・3火曜日の午後1時30分から宝泉行政センターで、講師の内田先生のご指導のもと、活動しています。宝泉地域ふれあい文化祭に14年連続で出品していて、作品は静物・人物・風景などの水彩画です。

新しい仲間も募集しています。



エアリス小さな森公園でのスケッチ会の様子

スケッチの後はみんなでランチ



ランチに来られなかった方にはお土産を♪



宝泉行政センターでの学習日の様子

作品を見せっこ☆



真剣な表情！



地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

お話を伺いました

会長：荒木毅さん



定年退職後にこのクラブを立ち上げました。
このクラブの他にも、絵のつながりの仲間がいます。趣味と社会貢献で充実した人生を送りたいと思います。

三宅孝子さん



趣味を持ち、豊かな人生を送りたくて入会しましたが、クラブの1番の魅力は、友だちがいることです。

中村民江さん



齋藤さんとは会社の元同僚で、お互いの子どもも同年代。2人で都内へお買い物に行くほど仲よしです。

齋藤操さん



50年以上の
お付き合い

とにかく「出かけること」を意識しています。たくさん習い事をしていますが、すべて認知症予防になってます。

チェックポイント

絵画の趣味を通じた仲間の集いの場には、豊かな時間が流れていました。お友だちがクラブにいることも、趣味を長く続けられる秘訣です。クラブ内にお手本になる人生の先輩がいることは、会員の皆さんの励みになっているようです。

地域福祉系のInstagram（インスタグラム）を開設しました。

市内の地域福祉を推進するため、各種事業の情報や地域のお宝について発信しています。

フォローやいいね！など、よろしくお願いします。→→→

